



## 入門ガイド

付録B オープンソース、オープン標準、オープンドキュメント

## 著作権表示

This document is Copyright © 2020 by the LibreOffice Documentation Team. 寄稿者は下記のとおりです。あなたはGNU 一般公衆ライセンス (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>) バージョン 3 以降、またはクリエイティブコモンズライセンス 表示 国際 (<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/>) バージョン 4.0 以降のいずれかの条件において、これを配布および・または変更することができます。このガイドに記載される、すべての商標は正当な所有者に帰属します。

## 寄稿者

### この版の寄稿者

Jean Hollis Weber

Steve Fanning

Kees Kriek

### 以前の版の寄稿者

Olivier Hallot

Valerii Goncharuk

Jean Hollis Weber

Dave Barton

Andrew Jensen

Peter Schofield

## フィードバック

このドキュメントに関するご意見やご提案は、ドキュメンテーションチームメーリングリストまでお願いします。  
[documentation@global.libreoffice.org](mailto:documentation@global.libreoffice.org)



### メモ

メーリングリストに送信したものは、あなたのメールアドレスやメールに書かれた情報、そのほか個人情報を含めアーカイブとしてすべて公開され、削除することはできません。

## 発行日とソフトウェアバージョン

2020年5月発行。LibreOffice 6.4をベースにしています。十二月 2020

## macOSをお使いの方への注意

macOSでは、WindowsやLinuxとは異なるキーボード操作やメニュー項目があります。以下の表に、この章での操作のための一般的な読み替えを示します。詳細な一覧については、ヘルプをご覧ください。

WindowsまたはLinux	macOSの操作	効果
[ツール]→[オプション]	LibreOffice→設定	オプション設定を開く
右クリック	コンピュータの設定に応じて、Control+クリックや右クリック	コンテキストメニューを開く
Ctrl (コントロール)	⌘ (コマンド)	他のキーと一緒に使用
F5	Shift+⌘+F5	ナビゲーターを開く
F11	⌘+T	サイドバーにあるスタイルデッキを開く

## 目次

---

著作権表示.....	2
寄稿者.....	2
この版の寄稿者.....	2
以前の版の寄稿者.....	2
フィードバック.....	2
発行日とソフトウェアバージョン.....	2
macOSをお使いの方への注意.....	2
はじめに.....	4
LibreOfficeの歴史.....	4
LibreOfficeコミュニティ.....	4
LibreOfficeのライセンスはどのようになっていますか？.....	5
「オープンソース」とは何ですか？ .....	5
「オープン標準」とは何ですか？ .....	5
オープンドキュメントとは何ですか？.....	5
オープンドキュメントのファイル名拡張子.....	6
LibreOfficeが開くことができるファイル形式.....	6
テキスト文書を開く.....	6
表計算ドキュメントを開く.....	7
プレゼンテーションファイルを開く.....	7
グラフィックファイルを開く.....	7
数式ファイルを開く.....	8
LibreOfficeで保存できるファイル形式.....	8
テキスト文書の保存.....	8
表計算ファイルの保存.....	8
プレゼンテーションの保存.....	9
ドローファイルの保存.....	9
Writer/Webでは、以下の形式で保存できます.....	9
他の形式へエクスポート.....	9

## はじめに

---

LibreOfficeは、他の主要なオフィススイートと相互運用性があり、さまざまなプラットフォームで利用できる生産性の高いオフィススイートです。オープンソースソフトウェアであるため自由にダウンロード、利用、配布ができます。この付録では、LibreOfficeを初めて使う方のためにLibreOfficeの歴史やコミュニティ、技術的な仕様についての情報を提供します。

## LibreOfficeの歴史

---

OpenOffice.orgプロジェクトは、サンマイクロシステムズが2000年10月13日に StarOffice® ソフトウェアのソースコード（設計図）をオープンソースコミュニティに公開したことから始まりました。製品であるOpenOffice.org 1.0は2002年4月30日にリリースされました。OpenOffice.orgのメジャーアップデートには、2005年10月のバージョン2.0、2008年10月のバージョン3.0があります。2010年1月26日、オラクルコーポレーションはサンマイクロシステムズを買収しました。

2010年9月28日、OpenOffice.orgを開発と推進するボランティアのコミュニティは、プロジェクト構造の大幅な変更を発表。サン・マイクロシステムズを設立と主要スポンサーに迎えて10年の成功を収めた後、このプロジェクトは、当初の憲章に書かれた独立の約束を果たすために「The Document Foundation」（ザ・ドキュメント・ファウンデーション）と呼ばれる独立した財団を立ち上げます。この財団は、個人や組織が真に自由なオフィススイートの可能性に貢献し、その恩恵を受けることができる新しいエコシステムの礎となっています。

商標登録されていたOpenOffice.orgの名前はオラクルコーポレーションから取得することはできませんでした。そのため、The Document Foundationは、その製品をLibreOffice（リブレオフィス）と名付けます。2011年1月、OpenOffice.orgからバージョン番号が続く形でLibreOffice 3.3がリリースされ、2020年1月にはバージョン6.4がリリースされています。

2012年2月、The Document Foundationはベルリンでドイツの財団法人として法人化されました。The Document Foundationについての詳細は、こちらをご覧ください。 [www.documentfoundation.org](http://www.documentfoundation.org)

## LibreOfficeコミュニティ

---

The Document Foundationのミッションは

今後、数ヶ月以内にOpenOffice.org コミュニティを新しくオープンで独立した実力主義的な組織構造への進化を促進させます。独立した財団は、貢献者、利用者、支援者の価値観とよりよくマッチし、より効果的で効率的、透明性があり、包括的なコミュニティを実現します。私たちは、最初の10年間の確かな成果をもとに過去の投資を守り、コミュニティへの幅広い参加を促し、コミュニティ全体の活動を調整していきます。"

私たちの企業サポーターには、GNOME Foundation、Google、Red Hat、Collaboraなどがいます。さらに、世界中のほぼすべての地域から45万人以上の人々が、誰もが使える最高のオフィススイートを作るというアイデアでこのプロジェクトに参加しています。これこそが「オープンソース」コミュニティの本質です！

オープンソースソフトウェアとしてライセンスされたLibreOfficeは、誰でも、どこでも、商用でも個人でも利用できるオフィススイートを提供するために重要な役割を果たしています。LibreOfficeは多くの言語に翻訳されており、すべての主要なオペレーティングシステムで動作します。拡張機能という形で新たな機能を追加もできます。

LibreOfficeコミュニティでは、翻訳者、ソフトウェア開発者、グラフィックアーティスト、テクニカルライター、編集者、寄付者、エンドユーザーサポートなど、あらゆる分野の貢献者を募集しています。どんな分野でも、LibreOfficeに違いをもたらすことができます。コミュニティは、国際的にすべての時間帯で、また多くの言語で、インターネットの [www.libreoffice.org](http://www.libreoffice.org) と [www.documentfoundation.org](http://www.documentfoundation.org) を通じてリンクし活動しています。

## LibreOfficeのライセンスはどのようになっていますか？

---

LibreOffice は、Mozilla Public License(MPL) 2.0 ([www.libreoffice.org/about-us/licenses/](http://www.libreoffice.org/about-us/licenses/)) と GNU Lesser General Public License (LGPL) 3.0+ ([www.gnu.org/licenses/lgpl-3.0.en.html](http://www.gnu.org/licenses/lgpl-3.0.en.html))の両方で配布されています。

## 「オープンソース」とは何ですか？

---

オープンソースソフトウェアの4つの基本的な権利は、Free Software Foundation (フリーソフトウェアファウンデーション) のGNU一般公衆ライセンス(GPL)のファミリーの中で具現化されています。

- どんな目的でもソフトウェアが使用できる権利
- ソフトウェアを有償、無償を問わず再配布する自由
- プログラムの完全なソースコード(つまり設計図)へのアクセス
- ソースコードの一部を変更したり、他のプログラムでその一部を利用する権利

オープンソースの基本的な考え方は非常にシンプルです。プログラマーがソフトウェアのソースコードを読み、再配布し、修正することができれば、ソフトウェアは進化します。人々はそれを改良し、人々はそれを適応させ、人々はバグを修正する。

自由ソフトウェアやオープンソース・ソフトウェアの詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

Open Source Initiative (OSI): [www.opensource.org](http://www.opensource.org)

Free Software Foundation (FSF): [www.fsf.org](http://www.fsf.org)

## 「オープン標準」とは何ですか？

---

オープン標準とは、メーカーやベンダーに依存しない手段を提供し、競合するソフトウェアプログラムが同じファイル形式を自由に使用できるようにします。HTMLやXML、ODFは文書のオープン標準の一例です。

オープン標準は、以下の要件を満たします

- 完全な仕様が、無償またはわずかな金額で公開されており、十分に文書化されています。
- 自由にコピー、配布、利用することができます。規格の知的財産は、ロイヤリティフリーの取消不能な形で利用できるようになっています。
- オープンなプロセスを用いて、独立したオープンなフォーラム(「標準化団体」とも呼ばれる)で標準化され、維持されています。

## オープンドキュメントとは何ですか？

---

オープンドキュメント (OpenDocument:ODF) は、独立した国際標準化団体である OASIS ([www.oasis-open.org/who/](http://www.oasis-open.org/who/)) で開発された、オフィス文書(テキスト文書、表計算、図面、プレゼンテーションなど)のためのXMLベースのファイル形式です。OpenDocumentバージョン1.2が国際標準化機構(ISO)で採用され、ISO/IEC 26300:2015規格と命名されました。<sup>1</sup>

他のファイル形式とは異なり、ODF(ISO/IEC 26300:2015)はオープンな規格です。それは公に利用可能であり、ロイヤリティフリーであり、法的または他の制限はありません。したがって、ODFファイルは特定のオフィススイートに縛られておらず、誰でもこれらのファイルを解釈するプログラムを作成できます。このような理由から、政府機関や学校、その他の企業にとって、ODFは急速に好まれるファイル形式になりつつあり、特定のソフトウェアサプライヤーに依存しすぎないようにしたいと考えている企業にとっても好まれています。

---

1 [www.iso.org/standard/66363.html](http://www.iso.org/standard/66363.html), [www.iso.org/standard/66375.html](http://www.iso.org/standard/66375.html), and [www.iso.org/standard/66376.html](http://www.iso.org/standard/66376.html)

LibreOfficeは、デフォルトでオープンドキュメント形式で文書を保存します。LibreOffice 3は、OpenDocument標準のバージョン1.2を採用しており、LibreOffice 6も引き続きこの標準を使用しています。LibreOfficeは、以下にまとめたように他の多くのファイル形式を開いて保存もできます。

LibreOfficeで読み書きできるファイル形式の一覧は、こちらを参照してください。  
[www.en.wikipedia.org/wiki/LibreOffice#Supported\\_file\\_formats](http://www.en.wikipedia.org/wiki/LibreOffice#Supported_file_formats)

## オープンドキュメントのファイル名拡張子

オープンドキュメント文書に使用される一般的なファイル名の拡張子は以下のとおりです。

- \*.odt ワープロ(テキスト)文書
- \*.ods 表計算
- \*.odp プレゼンテーション
- \*.odb データベース
- \*.odg グラフィック(ベクター描画)
- \*.odc グラフ
- \*.odf 数式(科学の公式や方程式)

## LibreOfficeが開くことができるファイル形式

---

LibreOfficeでは、オープンドキュメント形式のほか、Portable Document Format (PDF)をはじめとするさまざまなファイル形式を開くことができます。

### テキスト文書を開く

Writerでは、オープンドキュメント形式(.odt,.ott,.th,.odm,.fodt)の他に、OpenOffice.org 1.xで使用されている形式(.sxw,.stw,.sxc)や以下のテキスト文書形式、そして以下の一覧に無いさまざまな古いファイル形式を開くことができます。

Microsoft Word 6.0/95/97/2000/XP/Mac (.doc と .dot) Microsoft Word 2003 XML (.xml) Microsoft Word 2007/2010 XML (.docx, .docm, .dotx, .dotm)

Microsoft WinWord 5 (.doc)	WordPerfect文書 (.wpd)
Microsoft Works (.wps)	Lotus WordPro (.lwp)
Abiword文書 (.abw, .zabw)	ClarisWorks/Appleworks文書 (.cwk)
MacWrite文書 (.mw, .mcw)	リッチテキスト形式 (.rtf)
CSVテキスト (.csv and .txt)	StarWriter形式 (.sdw, .sgl, .vor)
DocBook (.xml)	Unified Office Format text (.uot, .uof)
T602文書 (.602, .txt)	Hangul WP 97 (.hwp)
Apple Pages 4 (.pages)	eBook (.pdb)
HTML文書 (.htm, .html)	
…その他多数	

これらのファイル形式のほとんどは LibreOffice によって自動的に検出されるため、ファイルピッカーで明示的に文書形式を選択しなくても開けます。

LibreOfficeは、.htmや.htmlファイル(Webページに使用)を開くと、これらのファイルを操作できるようにWriterをカスタマイズします。

## 表計算ドキュメントを開く

Calcでは、オープンドキュメント形式 (.ods、.ots、.fods) に加え、OpenOffice.org 1.x (.sxc、.stc)、および以下の表計算形式で使用されている形式を開くことができます。

Microsoft Excel 97/2000/XP (.xls, .xlw と .xlt) Microsoft Excel 4.x-5.0/95 (.xls, .xlw と .xlt) Microsoft Excel 97-2003 (.xml) Microsoft Excel 2007-365 (.xlsx, .xlsm, .xltx, .xltm) Microsoft Excel 2007-2010 バイナリ (.xlsb) Lotus 1-2-3 (.wk1, .wks, and .123) Data Interchange 形式 (.dif) リッチテキスト形式 (.rtf) CSV テキスト (.csv and .txt) StarCalc 形式 (.sdc and .vor) dBASE (.dbf) SYLK (.slk) Unified Office Format spreadsheet (.uos, .uof) HTML 文書 (.htm and .html files, including Web page queries) Quattro Pro 6.0 (.wb2) Apple Numbers 2 (.numbers) ... その他多数

## プレゼンテーションファイルを開く

Impressでは、オープンドキュメント形式 (.odp、.odg、.otp、.fopd) に加え、OpenOffice.org 1.x (.sxi、.sti) や以下のプレゼンテーション形式で使用されている形式を開くことができます。

Microsoft PowerPoint 97/2000/XP (.ppt and .pot) Microsoft PowerPoint 2007-365 (.pptx, .pptm, .potx, .potm) StarDraw and StarImpress (.sda, .sdd, .sdp, and .vor) Unified Office Format presentation (.uop, .uof) CGM – Computer Graphics Metafile (.cgm) Portable Document Format (.pdf) Apple Keynote 5 (.key) ... and many others

## グラフィックファイルを開く

Drawでは、オープンドキュメント形式 (.odg と .otg) に加え、OpenOffice.org 1.x (.sxd と .std) や以下の画像ファイル形式を開くことができます。

Adobe Photoshop (\*.psd) AutoCAD Interchange Format (\*.dxf) Corel Draw (\*.cdr) Corel Presentation Exchange (\*.cmx) Microsoft Publisher 98-2010 (\*.pub) Microsoft Visio 2000-2013 (\*.vdx; \*.vsd;



\*.vsdm; \*.vsdx)WordPerfect Graphics (\*.wpg)

BMP	JPEG, JPG	PCX	RAS	TGA
DXF	MET	PGM	SDA	TIF, TIFF
EMF	PBM	PNG	SDD	WMF
EPS	PCD	PPM	SVG	XBM
GIF	PCT	PSD	SVM	XPM

## 数式ファイルを開く

Mathでは、オープンドキュメント形式(.odf)に加えて、OpenOffice.org 1.x (.sxm)、StarMath、(.smf)、MathML (.mml) ファイルで使用されるファイル形式を開くことができます。

埋め込まれた数式エディタのオブジェクトを含むWord文書を開くときに、[ツール]→[オプション]→[読み込みと保存]→[Microsoft Office]でオプション(MathTypeからLibreOffice Mathへ、またはその逆)がチェックされていると、そのオブジェクトは自動的にLibreOffice Mathオブジェクトに変換されます。

## LibreOfficeで保存できるファイル形式

オープンドキュメント形式で保存すると、別の人にファイルを転送したとき、または新しいバージョンのLibreOfficeや他のプログラムで再度ファイルを開いたときに、ファイルの正しい表示が保証されます。標準のファイル形式としては、オープンドキュメントを使用することを強くお勧めします。その場合でも、必要に応じて他の形式でもファイルを保存できます。



### ヒント

受信者が変更しないドキュメントを共有する場合は、ドキュメントをPDFに変換することをお勧めします。LibreOfficeでは、文書をPDFに変換するための非常にわかりやすい方法を提供しています。このガイドの第10章「印刷、書き出し、電子メール送信、および署名」を参照してください。

## テキスト文書の保存

Writerでは、オープンドキュメント形式(.odt、.ott、.fodt)に加えて、次の形式で保存することができます。

Office Open XMLテキスト(.docx)	Microsoft Word 2007–365(.docx, .dotx)
Microsoft Word 97–2003(.doc)	Microsoft Word 2003 XML(.xml)
リッチテキスト形式(.rtf)	テキスト(.txt)
エンコードを選択したテキスト(.txt)	Unified Office Format text(.uot, .uof)
HTML Document(.html and .htm)	DocBook(.xml)

Microsoft Word 97/2000/XPフィルタ内の暗号化サポートにより、パスワードで保護されたMicrosoft Word文書を保存することができます。





## メモ

.rtf形式は、アプリケーション間でテキストファイルを転送するための一般的な形式ですが書式や画像の損失が発生する可能性があります。このため、他の形式を使用する必要があります。

---

### 表計算ファイルの保存

Calcは、オープンドキュメント形式 (.ods、.ots、.fods) に加えて、次の形式で保存できます。

Office Open XML Spreadsheet (.xlsx)	Data Interchange Format (.dif)
Microsoft Excel 2007–365 XML (.xlsx)	dBase (.dbf)
Microsoft Excel 97–2003 (.xls and .xlw)	SYLK (.slk)
Microsoft Excel 97–2003 Template (.xlt)	CSVテキスト (.csv and .txt)
Microsoft Excel 2003 XML (.xml)	Unified Office Format spreadsheet (.uos)
HTML文書 (Calc) (.html and .htm)	

### プレゼンテーションの保存

Impressでは、オープンドキュメント形式 (.odp、.otp、.fodp、.odg) に加えて、次の形式で保存できます。

Microsoft PowerPoint 2007–365 (.pptx, .potm) Microsoft PowerPoint 2007–365 AutoPlay (.ppsx) Microsoft PowerPoint 97–2003 (.ppt) Microsoft PowerPoint 97–2003 Template (.pot) Microsoft PowerPoint 97–2003 AutoPlay (.pps) Office Open XML Presentation (.pptx, .potm, .ppsx) Unified Office Format presentation (.uop)

Impressは、Macromedia Flash (.swf)や、Drawの一覧に掲載されている画像形式にも書き出せます。

### ドローファイルの保存

Drawでは、オープンドキュメント Drawing形式 (.odg, .otg, .fodg) で保存できます。

また、Macromedia Flash (.swf)や次の画像形式に書き出せます。BMP, EMF, EPS, GIF, JPEG, PNG, SVG, TIFF, WMF

### Writer/Webでは、以下の形式で保存できます。

HTML 文書 (.html and .htm), as HTML 4.0 Transitional Text and Text Encoded (LibreOffice Writer/Web) (.txt)

### 他の形式へエクスポート

---

LibreOfficeでは、[名前を付けて保存]コマンドとは異なる「エクスポート」という用語を使用して、現在の内容とファイル形式を残したまま、別の形式の新しいファイルで書き出せます。[名前を付けて保存]で探しているファイル形式が見つからない場合は、[エクスポート]で追加の形式を探してください。

PDFは、OpenOffice.org 1.5以降でよく知られているエクスポートの形式です。EPUBは、LibreOffice 6.0以降のエクスポートのための新しい形式です。これらの形式へのエクスポートの詳細については、第 10 章「印刷、エクスポート、メール送信と電子署名」を参照してください。

LibreOfficeでは、ファイルをHTMLやXHTMLに書き出すこともできます。Wikiサーバで公開するには、MediaWiki (.txt)形式で文書をエクスポートします。さらにDrawとImpressでは、Adobe Flash (.swf)や様々な画像形式にエクスポートできます。

これらの形式のいずれかにエクスポートするには、[ファイル]→[エクスポート]を選択します。[エクスポート]ダイアログで、エクスポートした文書のファイル名を指定、ファイル形式リストから必要な形式を選択して、[エクスポート]または[保存]ボタンをクリックします。